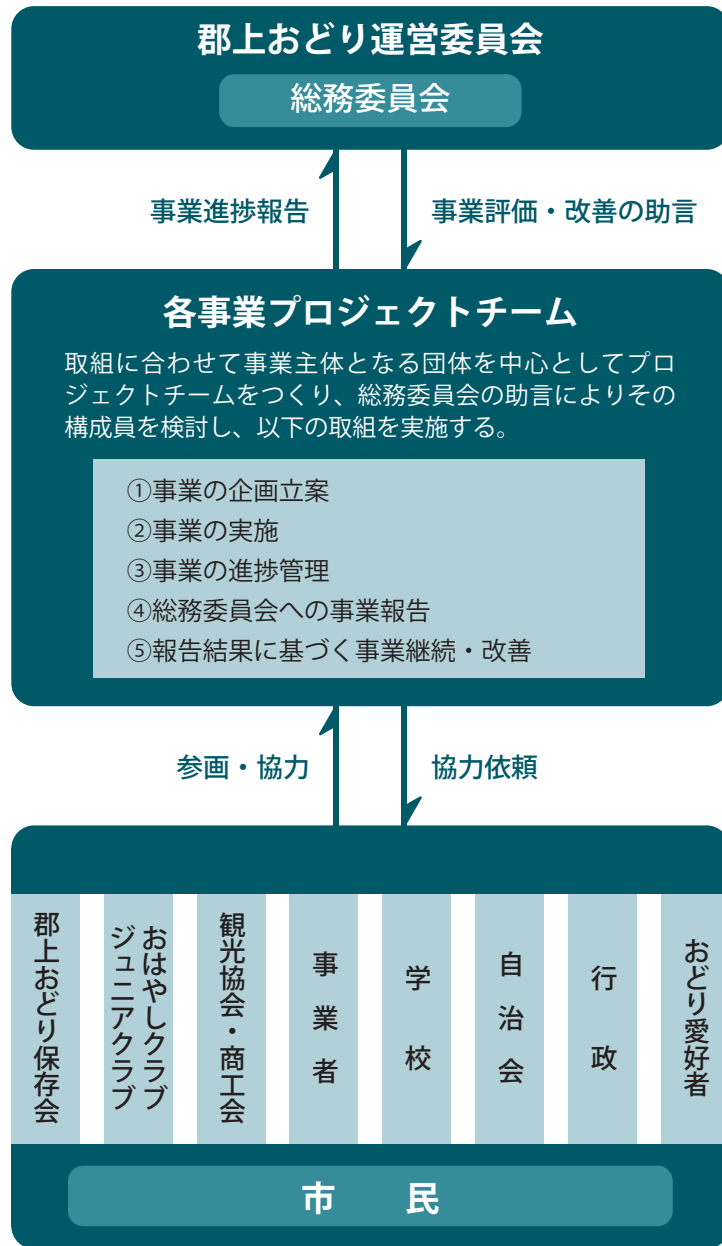


計画の推進体制と進め方

郡上おどりの保存活用の目的を実現するため、以下の体制図により取組を推進します。



市民の皆さんとの連携

郡上おどりの保存継承には、市民の皆さん一人一人も重要な役割をもっています。皆さんが担う役割については、必ずしも特別なことが求められているのではなく、皆さんがおどり会場に足を運び、地区の祭礼に参加するなど、「今できること」から始めていただき、考え、行動につなげていただくような積み重ねが続くよう、郡上おどり運営委員会が中心となって環境づくりを進めます。

すでに新たな取組も始まっています！



▲ 観光甲子園 2023 グランプリ受賞（郡上高等学校）
『郡上の夏は終わらない～郡上おどりを未来へ～』



▲ ボランティアによる屋形曳き



▲ 小学生向け民謡指導



▲ 青年会議所による変装ナイト開催

郡上おどり

保存活用計画【概要版】

～ 次の100年に向けて ～



「郡上おどり保存活用計画」とは？

国重要無形民俗文化財に指定されている「郡上踊」は、多くの関係者が運営に携わることで継承されてきました。令和4年11月にはユネスコ無形文化遺産「風流踊」の一つに登録されるなど今後の保存活用が期待されています。

一方、少子高齢化やライフスタイルの変化などにより、郡上おどりに対する住民意識の低下、お囃子の担い手不足が進み、おどりを開催する地区の中には屋形の移動などの準備についても人員不足により、その活動ができず開催が困難なところもあります。

郡上おどり運営委員会では、郡上おどりを次の100年につなげるためのステップとして、これから5年間の郡上おどりの保存継承に向けた方針を明確に示すとともに、関係者のみならず市民の皆さんやおどり愛好者と協力して戦略的に課題解消に向けた取り組みを進めるため保存活用計画を策定しました。



郡上おどり運営委員会 〒501-4222 岐阜県郡上市八幡町島谷 130 番地 1（郡上市商工観光部観光課内）

電話 0575-67-1808 e-mail : kankou@city.gujo.lg.jp

郡上おどり運営委員会は、おどり交流活動を通じた魅力発信、おどりによる地域活性化と担い手育成、安全安心なおどり運営に努めています。

郡上おどりがなくなると・・・予想される影響

市民の愛郷心の希薄化

地域ならではの伝統や文化への関心が低下することで、愛郷心が失われていく恐れがあります。

人口減少の加速化

地域へ愛郷心が失われていくことで、市外への転出の加速化が懸念されます。

地域の結束力の低下

縁日等で結束していた機会がなくなること、多様な問題解決に取り組む力が弱まる可能性があります。

交流人口の減少による まちの賑わい低下

おどりファンなど観光客の減少により、観光産業の停滞によるまちの賑わいの低下が懸念されます。

観光分野だけでなく 関連事業者も含めた働く場の喪失

観光産業の停滞により、関連産業に影響が波及し、雇用への影響が生じる可能性があります。

郡上おどりでこんなこと思ったことはありませんか？



最近、地元住民、地元小中学生がおどりに参加していないなあ

おどり会場に若者が少なくなったなあ

保存会ってどんな活動してるのかなあ

保存会の技術が向上していないなあ

各地区のおどり運営協力者が減少しているなあ

関係団体の協力が少なく運営に支障が生じているなあ

協力したいけどどこに問い合わせたらいいのかなあ

ユネスコ登録等による外国人来訪者の増加に伴う対応が必要だなあ

おどり会場での来場者のマナー周知が必要だなあ

祭礼や縁日ってどんな意味があるんだろう

なんで、地区の祭礼や縁日おどりの手伝いを行い、
続けていくことが必要なんだろう

課題 地元住民のおどり離れと担い手不足

課題 郡上おどり保存会の会員数の減少

課題 おどり運営者の負担の増加

課題 来場者の増加と受入れ体制の不安

課題 祭礼の調査研究と住民への周知不足

これから目指す姿と保存活用の方針

多くの人々が様々な取組に参画することで、そこに関わる人々が
「誇り」や「生きがい」をもてる郡上おどりを実現します。

- 方針1 将来の担い手を育てる ～子どもたちの知る機会と参加・交流の場づくり～

方針2 保存会を未来につなげる ～保存会の活性化と技能継承～

方針3 地元のおどり離れを防ぐ ～地元の人の誇り・生きがいとしての郡上おどりの再生～

方針4 郡上おどりの運営を皆で支える ～持続可能な運営方法・体制実現～

方針5 おどり愛好者をさらに増やす ～郡上おどりに関する情報発信と受入体制の改善～

対策の概要

5つの方針の実現に向けて、以下の通り14の対策と29の取組を明確化しました。
今後、各取組の中心となる実施団体とともに、課題解決に向け連携して取り組みます。

◎ … 中心となって取組を進める実施団体
● … 参画・協力いただく実施団体

方針1 将来の担い手を育てる ～子どもたちの知る機会と参加・交流の場づくり～

1	学校教育との連携	学校授業等の活用・連携	●	●	●	●	●	◎
		学校内外のおどり開催支援と交流の場づくり			●	●	●	◎
2	学びに対する応援と交流の場づくり	高校生・学生の研究支援と人材交流の促進			●	●	●	◎
		学校、おはやしクラブ、ジュニアクラブのおはやし道具の整備	●	◎		●		●
3	おはやしクラブの活動促進	おはやしクラブやその他おはやし団体が活動を発表できる場づくり	●	◎	●	●	●	●
		おはやし講習会の開催	●				●	◎
4	ジュニアクラブの活動促進	活動の活性化と正調郡上おどりの指導強化	●	◎				●

方針2 保存会を未来につなげる ～保存会の活性化と技能継承～

1	保存会の財政基盤の確立	自主財源の確保	◎	●	●	●	●	●
		保存会員の金銭負担の軽減と待遇改善	◎					
2	保存会員の技術向上	技量の把握・目標設定とアーカイブの活用	◎					●
3	保存会の組織力強化	保存会の役割の明確化	◎	●				●
		若手会員や新規会員の獲得に向けた情報発信と仕組みづくり	◎	●				●

方針3 地元のおどり離れを防ぐ ～地元の人の誇り・生きがいとしての郡上おどりの再生～

1	縁日おどりの価値の発信と魅力づくり	縁日おどりの謂れの伝承と発信	●				◎	●
		各地区の縁日ならではの魅力づくり					◎	●
		夜店の出店と安全安心な会場づくり			●		●	◎
2	市民がおどりに参加しやすい・参加したくなる環境づくり	八幡市街地以外の地区のおどり参加促進				●	◎	●
		親子やおどり愛好者が楽しめる企画づくり	●				●	◎

方針4 郡上おどりの運営を皆で支える ～持続可能な運営方法・体制実現～

1	地区を超えた運営協力体制づくり	地区や自治会単位での協力体制づくり					◎	●
		商工・観光事業者等の運営参画			◎	●		●
		ボランティアの活用					●	◎
2	郡上おどり愛好者との連携	郡上おどり愛好者が運営に関わる仕組みづくり	●	●	●	●	◎	●
		おどり愛好団体等との連携強化	●				◎	●
3	運営委員会の体制強化	運営委員会事務局の強化	●	●	●		◎	●
		自主財源の確保	●	●			◎	●

方針5 おどり愛好者をさらに増やす ～郡上おどりに関する情報発信と受入体制の改善～

1	情報収集と発信	情報発信の一元化に関する検討	●	●			◎	●
		郡上のおどりと連携した情報発信	●	●	●		◎	●
2	受け入れ環境整備・改善	駐車場確保と情報発信	●	●			◎	●
		おどり屋形の新調・改修に向けた計画づくり	●	●			◎	●
		おどり会場内でのルールづくりとマナー啓発	●	●	●	●	◎	●